

安全データシート

Red Blood Cell Removal Solution (10x) 5mL (120-024-985)

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 Red Blood Cell Removal Solution (10x) 5mL
 バイアルコード 120-024-985
 供給者の会社名称 ミルテニーバイオテック株式会社
 住所 東京都江東区冬木16番10号
 電話番号 03-5645-8910
 FAX番号 03-5645-8911
 電子メールアドレス macs@miltenyibiotec.jp
 推奨用途及び使用上の制限 試験研究用

上記試薬は、下記の製品に含まれています

品名	オーダー番号	量
Adult Brain Dissociation Kit (マウス,ラット)	130-107-677	5 mL x 1本

2. 危険有害性の要約

GHS分類

健康有害性 特定標的臓器毒性(反復ばく露) 区分2(全身毒性)

GHSラベル要素

絵表示



注意喚起語
危険有害性情報

警告
H373 長期にわたる、又は反復ばく露による全身毒性の障害のおそれ

注意書き
安全対策

粉じん、煙、ガス、ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。(P260)

応急措置

気分が悪い時は、医師の手当て、診断を受けること。(P314)

廃棄

内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。(P501)

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別

混合物

別名

赤血球溶血溶液 (10X)

化学名又は一般名	濃度又は濃度範囲	化学式	官報公示整理番号		CAS番号
			化審法	安衛法	
塩化アンモニウム	5% 以上 10% 未満	NH4Cl	(1)-218	既存	12125-02-9

分類に寄与する不純物及び安定化添加物

情報なし

4. 応急措置

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。

皮膚に付着した場合

水と石鹼で洗うこと。
皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。

【SDS101-A】

眼に入った場合		眼の刺激が持続する場合、医師の診断、手当てを受けること。
飲み込んだ場合		水で数分間注意深く洗うこと。 口をすすぐこと。 気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。
5. 火災時の措置		
消火剤		大火災: 散水、噴霧水、一般の泡消火剤。 小火災: 粉末消火剤、二酸化炭素、散水。 周辺火災の種類に応じて適切な消火剤を用いる。 この製品自体は、燃焼しない。
使ってはならない消火剤 特有の危険有害性		棒状注水。 火災によって刺激性、腐食性及び/又は毒性のガスを発生するおそれがある。
特有の消火方法 消火を行う者の保護		危険でなければ火災区域から容器を移動する。 消火作業の際は、空気呼吸器、化学用保護衣を着用する。
6. 漏出時の措置		
人体に対する注意事項、 保護具及び緊急時措置		直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。
		関係者以外は近づけない。 作業者は適切な保護具(『8. ばく露防止及び保護措置』の項を参照)を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。 立ち入る前に、密閉された場所を換気する。 環境中に放出してはならない。
環境に対する注意事項		
封じ込め及び浄化の方法 及び機材		不活性材料(例えば、乾燥砂又は土等)で流出物を吸収して、化学品廃棄容器に入れる。 除去後、汚染現場を水で完全に洗浄する。
二次災害の防止策		すべての発火源を速やかに取除く(近傍での喫煙、火花や火炎の禁止)。
7. 取扱い及び保管上の注意		
取扱い	技術的対策	『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
	安全取扱注意事項	取扱い後はよく手を洗うこと。 排気用の換気を行うこと。 接触、吸入又は飲み込まないこと。
	接触回避	『10. 安定性及び反応性』を参照。
保管	安全な保管条件	2-8 °Cにて保管。UV、放射線、太陽光を避けること。 冷凍しないこと。
	安全な容器包装材料	『10. 安定性及び反応性』を参照。 消防法及び国連輸送法規で規定されている容器を使用する。
8. ばく露防止及び保護措置		
設備対策		本製品を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。
保護具	呼吸器の保護具	エアロゾルやミストが発生する状況下では、適切な呼吸器保護具を着用すること。
	皮膚及び身体の保護具	適切な保護衣を着用すること。
9. 物理的及び化学的性質		
外観	物理的状态	液体
	形状	液体
	色	無色 - 薄い黄色
臭い		無臭

【SDS101-A】

臭いのしきい(閾)値		データなし
pH		6.0 - 8.0
融点・凝固点		データなし
沸点、初留点及び沸騰範囲		100 °C
引火点		データなし
蒸発速度		データなし
燃焼性(固体、気体)		データなし
燃焼又は爆発範囲	下限 上限	データなし データなし
蒸気圧		データなし
蒸気密度		データなし
比重(密度)		1 g/cm ³
溶解度		高溶解性
n-オクタノール／水分分配係数		データなし
自然発火温度		データなし
分解温度		データなし
粘度(粘性率)		データなし
動粘性率		データなし
10. 安定性及び反応性		
反応性		情報なし
化学的安定性		情報なし
危険有害反応可能性		情報なし
避けるべき条件		長時間の光暴露によって、分解を起こす可能性あり
混触危険物質		情報なし
危険有害な分解生成物		情報なし
11. 有害性情報		
急性毒性	経口 経皮 吸入	区分外に該当。 区分外に該当。 (蒸気) 区分外に該当。
皮膚腐食性及び皮膚刺激性		危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分外に該当。
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性		危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分外に該当。
呼吸器感作性又は皮膚感作性		危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分外に該当。
生殖細胞変異原性		危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分外に該当。
発がん性		危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分外に該当。
生殖毒性		危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分外に該当。
特定標的臓器毒性(単回ばく露)		危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分外に該当。
特定標的臓器毒性(反復ばく露)		※区分2(神経系)は5%以上 10%未満含まれる。 区分1(全身毒性)の成分が5%以上 10%未満のため、区分2(全身毒性)に該当。
吸引性呼吸器有害性		動粘性率が不明のため、分類できないに該当。
12. 環境影響情報		
水生環境有害性(急性)		区分外に該当。
水生環境有害性(長期間)		区分外に該当。
オゾン層への有害性		データ不足のため分類できない。

【SDS101-A】

13. 廃棄上の注意 残余廃棄物

廃棄の前に、可能な限り無害化、安定化及び中和等の処理を行って危険有害性のレベルを低い状態にする。

廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。

汚染容器及び包装

空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意 国際規制

海上規制情報
Marine Pollutant
Transport in bulk
according to
MARPOL
73/78, Annex II, and
the IBC code.

非該当
Not applicable
Not applicable

国内規制

航空規制情報
陸上規制
海上規制情報
海洋汚染物質
MARPOL 73/78 附
属書II 及びIBC コー
ドによるばら積み輸
送される液体物質

非該当
非該当
非該当
非該当
非該当

緊急時応急措置指針番号

航空規制情報

非該当
なし

15. 適用法令 労働安全衛生法

名称等を表示すべき危険物及び有害物(法第57条第1項、施行令第18条第1号、第2号別表第9)
名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2、施行令第18条の2第1号、第2号別表第9)

水質汚濁防止法

塩化アンモニウム(政令番号:96)(1%-10%)
有害物質(法第2条、施行令第2条、排水基準を定める省令第1条)

海洋汚染防止法
特定有害廃棄物輸出入規
制法(バーゼル法)

有害液体物質(Z類物質)(施行令別表第1)
廃棄物の有害成分・法第2条第1項第1号イに規定するもの(平10三省告示1号)

16. その他の情報 連絡先 その他

ミルテニーバイオテク株式会社 TEL: 03-5646-8910
上記の情報は調査して記したものですが、全てを網羅していない可能性がありますので、取扱いの際には十分注意して下さい